

# 老人保健施設松島みどりの家です。



リハスタッフ



外観

## ◎私たちの施設の特徴◎

- ・当施設は、平成元年 6 月 1 日に開所しました。入所定員は 100 名、通所リハビリテーション定員は 10 名の施設です。
- ・リハビリストッフは全員が常勤で理学療法士 5 名、言語聴覚士 1 名です。
- ・“個々にあったリハビリを提供し「障害への受容」,「環境への適応」,「身体機能の維持・向上」を図り、心身ともに健康で過ごせるように支援します”, “現状に満足せずに絶えず励むことを怠らず、自ら向上する気持ちを忘れません”, “思いやりをもって利用者様が自分らしく笑顔で過ごせるように支援します”の 3 つのリハビリ理念の基、取り組んでいます。

## ＜リハビリテーションに関する連絡先＞

医療法人友仁会 松島みどりの家  
〒981-0215 宮城郡松島町高城字浜 1 の 26  
電話：022-354-2126 / ファクシミリ：022-354-2127

塩釜  
地区

# リハビリネットワーク通信

## 第 4 号

(平成 29 年 5 月発行)

発行元：  
宮城県仙台保健福祉事務所  
健康づくり支援班  
022-363-5503 (直通)

### Qにお答えします

- Q. 老人保健施設では、多職種との連携が重要だと思いますが、リハビリテーションの目標設定プロセスにおいて、多職種連携に係る貴施設での取組を教えてください。(松島病院)
- A. 老健、病院に限らず多職種連携において、利用者様の様々な情報の共有がなされなければならないと考えます。  
そのため当施設では、サービス担当者会議以外でも情報共有する場を設け、話し合うようにしています。関連職種の視点から対象者のリスク、留意事項を挙げ、それらを基に目標を設定しています。

## バトンでつなごう

一問一答 ~紹介リレー~



次回：訪問看護ステーションまつしま  
デイサービス おたっしゅデイ  
さんへバトンタッチ

### ●質問コーナー●

- Q. 貴施設内で転倒リスク軽減のために行っている取組等がありましたら、是非教えてください。

リハビリ川柳

【解説】犬の散歩時にも、腰を伸ばして運動している様子です。

【解説】犬の散歩時にも、腰を伸ばして運動している様子です。

【解説】百歳を超える入所者様がご飯を召し上がり、にっこり笑いながら「美味しいよ」と一言。改めて、お食事はいくつ年を重ねても楽しみや喜びを感じるものと勉強させて頂いた出来事でした。

「犬たちと 楽しい散歩 腰伸ばす」(通所利用者様)

「日雀来て 恙無い日の 茶をすする」(通所利用者様)

「お口から 食べる喜び いっまでも」(言語聴覚士)